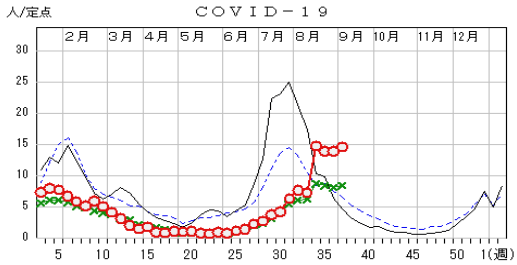
長崎県感染症発生動向調査速報（週報）

2025年第37週　　2025年9月8日（月）～2025年9月14日（日）2025年9月18日作成

☆定点※報告疾患（定点当たり報告数の上位３疾患）の発生状況

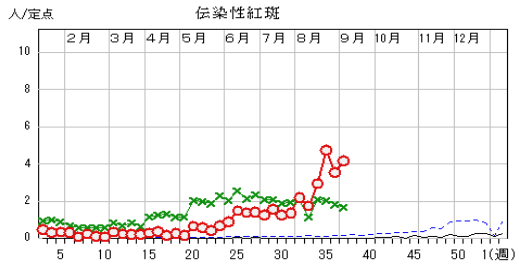
（１） 新型コロナウイルス感染症

第37週の報告数は745人で、前週より36人多く、 定点当たりの報告数は14.61であった。
年齢別では、10歳未満（190人）、10～19歳（175人）、40～49歳（72人）の順に多かった。
定点当たり報告数の多い保健所は、対馬保健所（30.00）、県北保健所（25.67）であった。



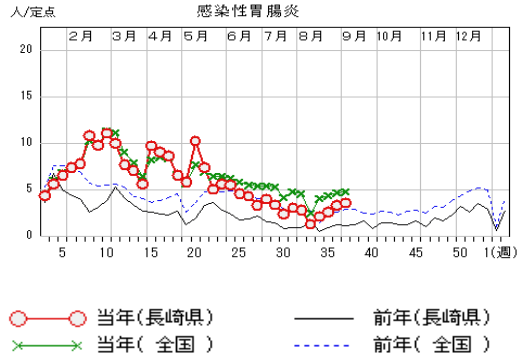
（２） 伝染性紅斑

第37週の報告数は129人で、前週より19人多く、 定点当たりの報告数は4.16であった。
年齢別では、４歳（30人）、５歳（22人）、２歳（17人）の順に多かった。
定点当たり報告数の多い保健所は、県央保健所（9.60）、佐世保市保健所（5.75）、長崎市保健所（4.33）であった。



（３） 感染性胃腸炎

第37週の報告数は112人で、前週より8人多く、 定点当たりの報告数は3.61であった。
年齢別では、１歳（24人）、10～14歳（15人）、２歳（12人）の順に多かった。
定点当たり報告数の多い保健所は、西彼保健所（12.00）であった。



※急性呼吸器感染症定点数：51、小児科定点数：31、眼科定点数：8、基幹定点数：12
（2025年第15週より定点数が変更されました）

☆上位３疾患の概要

【新型コロナウイルス感染症】
第37週の報告数は745人で、定点当たり報告数は14.61でした。地区別にみると、対馬地区（30.00）、県北地区（25.67）は他の地区より多くなっています。県全体では前週より増加していますので、今後も動向に注意しましょう。
本疾患の主な症状は、発熱、咳、全身倦怠感等の感冒様症状で、主に飛沫感染や接触感染により感染します。場面に応じたマスクの着用や手洗い、換気、三密の回避などの基本的な感染対策に努めましょう。

【伝染性紅斑】

第37週の報告数は129人で定点当たり報告数は4.16となり、6週続けて警報レベルの報告数となりました。地区別では、10保健所中7保健所で警報レベルの報告数となっています。

本疾患は、ヒトパルボウイルスB19による感染症で、小児を中心にみられる流行性の発しん性の病気です。約10～20日の潜伏期間の後、微熱やかぜの症状などがみられ、その後、両頬に蝶の羽のような境界鮮明な赤い発しん（紅斑）、体や手・足に網目状やレース状の発しんが広がりますが、ほとんどは合併症を起こすことなく自然に回復します。一方で、これまで感染したことのない女性が妊娠中に感染した場合、胎児にも感染し、胎児の異常や流産のリスクとなる可能性がありますので、注意が必要です。感染経路は、飛沫感染や接触感染ですので、手洗いやマスクの適切な着用など感染予防に努めましょう。

【感染性胃腸炎】

第37週の報告数は112人で、定点当たりの報告数は3.61でした。地区別にみると、西彼地区（12.00）は他の地区より多くなっています。

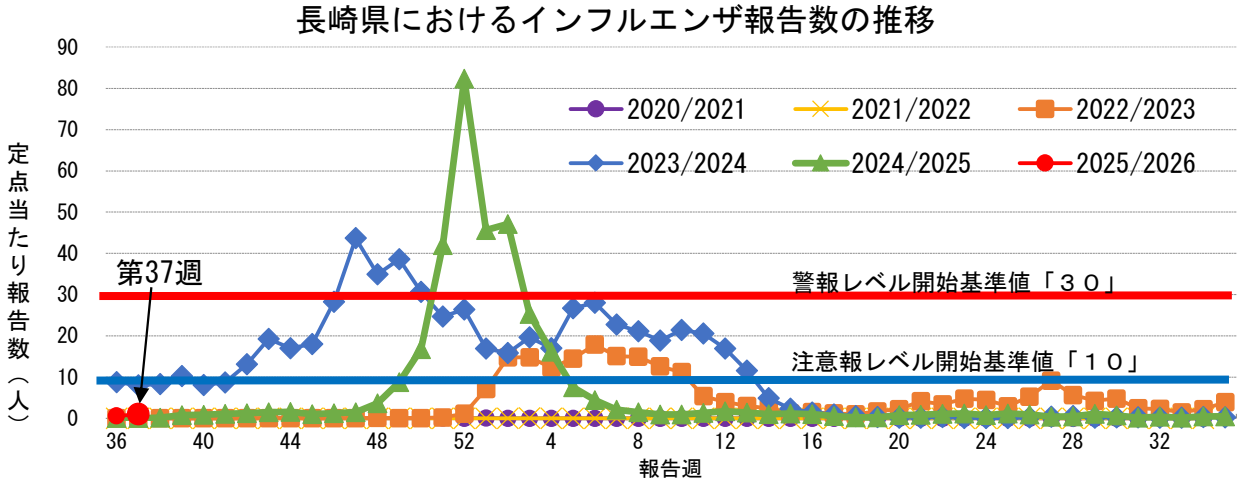
本疾患は、細菌又はウイルスなどの病原微生物による嘔吐、下痢を主症状とする感染症です。原因はノロウイルスやロタウイルス、エンテロウイルス、アデノウイルスなどのウイルス感染による場合が主流ですが、腸管出血性大腸菌などの細菌が原因となる場合もあります。手洗いの励行とともに、体調管理に注意して感染防止に努め、早めに医療機関を受診しましょう。

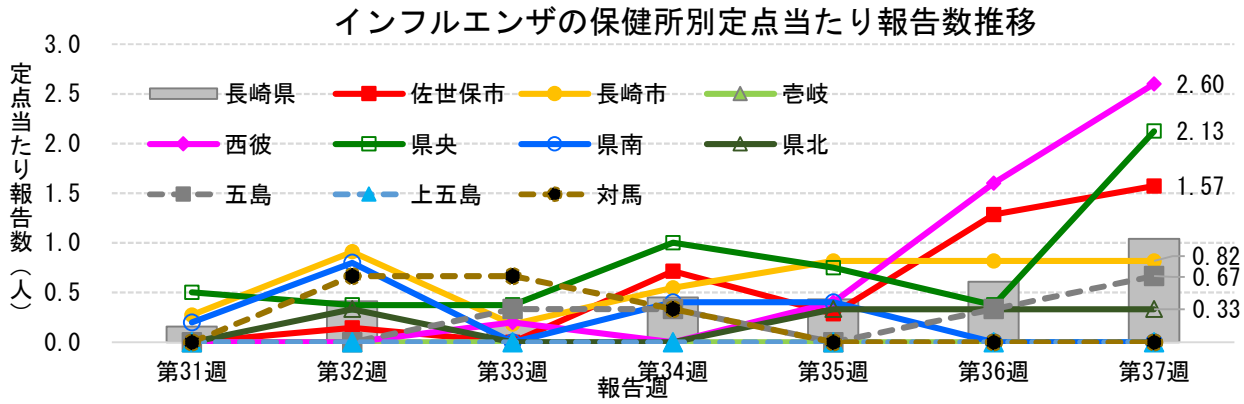
☆トピックス：県内がインフルエンザの流行期に入りました

2025年第37週の長崎県全体のインフルエンザの定点当たり報告数が「1.04」となり、流行開始の目安となる「1.00」を上回りました。地区別にみると、西彼地区（2.60）、県央地区(2.13）、佐世保地区（1.57）は他の地区より多く、「1.00」を超えています。

インフルエンザの流行期に入り、今後患者数の増加が懸念されます。手洗いの励行、適切なマスクの使用、換気などの基本的な感染対策に努め、感染予防を心がけましょう。また、10月頃から接種が開始されるインフルエンザワクチンは、発症及び重症化を一定程度予防する効果があります。希望される方は、早めにワクチンを接種しましょう。

（参考）長崎県感染症情報センター　「インフルエンザ」
https://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/hukushi-hoken/kansensho/kansen-c/influenza-kansen-c/685285.html



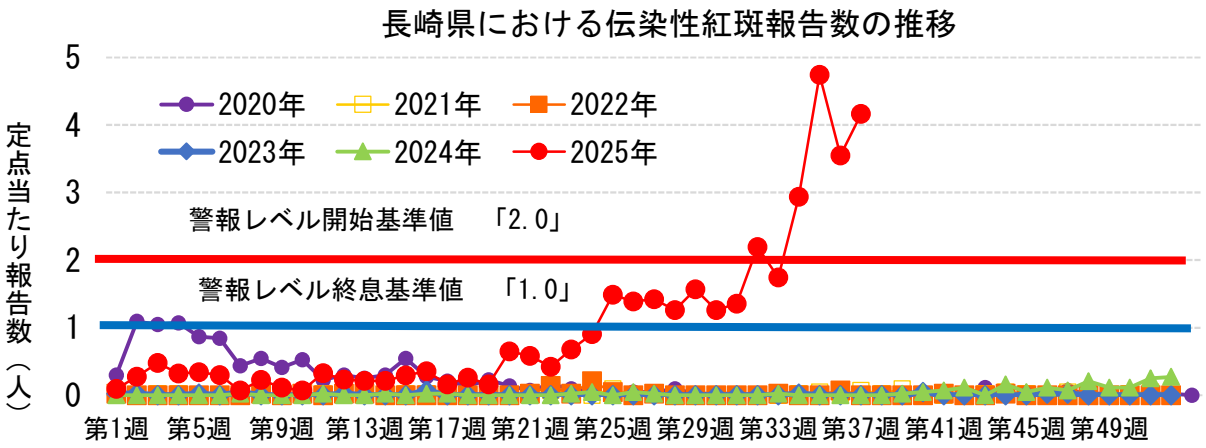


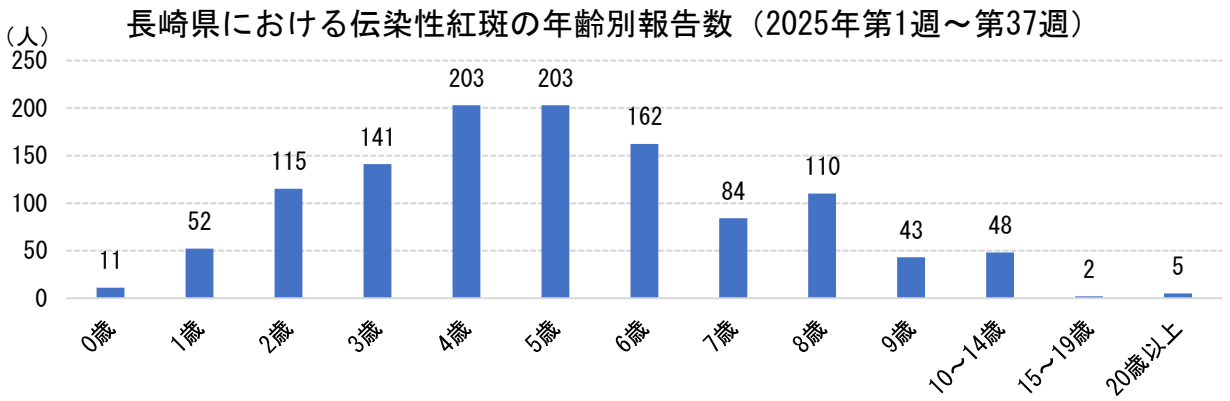
☆トピックス：伝染性紅斑が流行しています

伝染性紅斑は、ヒトパルボウイルスB19による感染症で、小児を中心にみられる流行性の発しん性の病気です。両頬がリンゴのように赤くなることから、「リンゴ病」と呼ばれることもあります。約10～20日の潜伏期間の後、微熱やかぜの症状などがみられ、その後、両頬に蝶の羽のような境界鮮明な赤い発しん（紅斑）が現れます。続いて、体や手・足に網目状やレース状の発しんが広がりますが、これらの発しんは1週間程度で消失し、ほとんどは合併症を起こすことなく自然に回復します。一方で、これまで伝染性紅斑に感染したことのない女性が妊娠中に感染した場合、胎児にも感染し、胎児水腫などの重篤な状態や、流産のリスクとなる可能性がありますので、注意が必要です。

2025年第37週の報告数は129人で定点当たり報告数は4.16でした。第32週に警報レベル開始基準値「2.0」を超え、6週続けて警報レベルの報告数となっています。地区別では、10保健所中7保健所において、警報レベルの報告数となっています。

感染経路は、飛沫感染や接触感染で、かぜ症状のある時期にウイルスの排出が最も多くなるといわれています。治療薬やワクチンがないため、感染予防が重要です。特に妊娠中の方やそのご家族ではかぜ症状がある方との接触をできる限り避け、手洗いやマスクの適切な着用など感染予防に努めましょう。

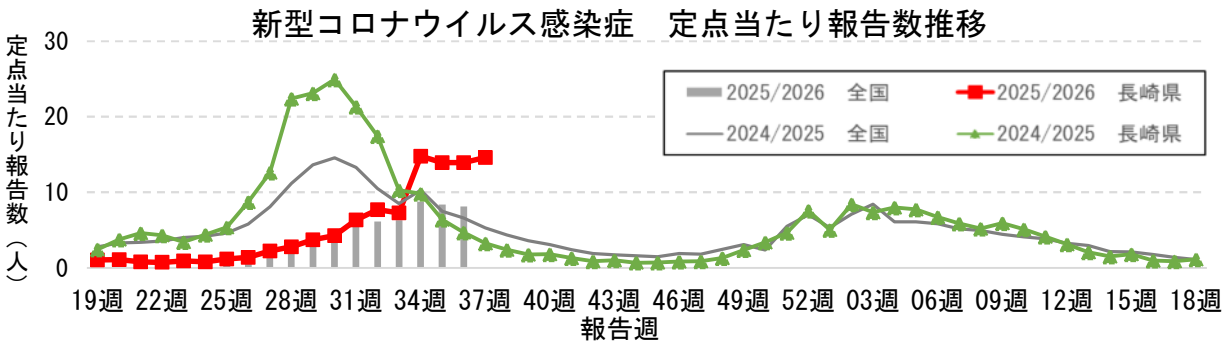




☆トピックス：新型コロナウイルス感染症に注意しましょう

新型コロナウイルス感染症の長崎県における第37週の定点当たり報告数は「14.61」でした。地区別では、対馬地区（30.00）、県北地区（25.67）が多くなっています。年代別にみると、10歳未満（25.5%）、10代（23.5%）が多くなっています。

今後も場面に応じたマスクの着用や手洗い、換気、三密の回避などの基本的な感染対策に努めましょう。



◆全数届出の感染症

２類感染症：結核　患者　女性（20代・3名）
３類感染症：報告なし
４類感染症：レジオネラ症　患者　男性（80代以上・1名）
５類感染症：侵襲性肺炎球菌感染症　患者　男性（60代・1名）
梅毒　患者　男性（20代・1名、40代・1名）
無症状病原体保有者　女性（20代・1名）
百日咳　患者　男性（10歳未満・4名、10代・1名、50代・2名）
女性（10代・2名、50代・2名、60代・1名、70代・1名）

◆定点把握の対象となる５類感染症

（1）　疾病別・週別発生状況　　（第32～37週、8/4～9/14）

疾　患　名	定点当たり患者数					
	32週	33週	34週	35週	36週	37週
	8/4～	8/11～	8/18～	8/25～	9/1～	9/8～
インフルエンザ	0.41	0.18	0.45	0.43	0.61	1.04
新型コロナウイルス感染症	7.67	7.27	14.78	13.92	13.90	14.61
ＲＳウイルス感染症	0.52	0.42	0.71	2.10	2.84	2.65
咽頭結膜熱	0.58	0.23	0.45	0.45	0.52	0.23
Ａ群溶血性ﾚﾝｻ球菌咽頭炎	2.35	1.16	1.42	2.74	1.68	1.61
感染性胃腸炎	2.81	1.29	2.13	2.58	3.35	3.61
水痘	0.23	0.26	0.48	0.19	0.45	0.48
手足口病	0.13	0.06	0.10	0.29	0.23	0.23
伝染性紅斑（リンゴ病）	2.19	1.74	2.94	4.74	3.55	4.16
突発性発しん	0.45	0.16	0.39	0.45	0.39	0.16
ヘルパンギーナ	0.65	0.52	0.26	0.35	0.26	0.39
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	0.03	0.06		0.03		
急性出血性結膜炎	0.29			0.13	0.13	0.50
流行性角結膜炎	1.71	1.00	3.38	2.13	2.25	3.13
細菌性髄膜炎			0.08	0.08		
無菌性髄膜炎			0.08	0.08	0.17	
マイコプラズマ肺炎	0.75	0.67	0.58	1.17	0.42	0.83
ｸﾗﾐｼﾞｱ肺炎（ｵｳﾑ病は除く）						
感染性胃腸炎（ロタウイルス）						
急性呼吸器感染症（ARI）	59.10	33.02	60.75	62.94	70.43	76.12

（2）　疾病別･保健所管内別発生状況　　（第37週、9/8～9/14）※赤字：警報レベル、青字：注意報レベル

疾　患　名	定点当たり患者数（県・保健所管轄別）										
	県	佐世保市	長崎市	壱岐	西彼	県央	県南	県北	五島	上五島	対馬
インフルエンザ	1.04	1.57	0.82		2.60	2.13		0.33	0.67		
新型コロナウイルス感染症	14.61	12.43	13.09	6.33	7.80	16.75	17.40	25.67	3.67	19.00	30.00
ＲＳウイルス感染症	2.65	2.50	2.83		4.67	2.60	6.00	5.00			
咽頭結膜熱	0.23	0.25	0.17		0.33	0.20		1.50			
Ａ群溶血性ﾚﾝｻ球菌咽頭炎	1.61	2.25	0.50	0.50	3.67	1.40	5.67				1.00
感染性胃腸炎	3.61	4.75	2.83	2.00	12.00	5.20		5.00			
水痘	0.48	1.25	0.67		0.33	0.60		0.50			0.50
手足口病	0.23		0.50			0.40		1.00			
伝染性紅斑（リンゴ病）	4.16	5.75	4.33	1.50	3.67	9.60	3.00	3.00	1.00		0.50
突発性発しん	0.16	0.25	0.17		0.33	0.40					
ヘルパンギーナ	0.39			0.50		0.20			3.50		1.50
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）											
急性出血性結膜炎	0.50						4.00				
流行性角結膜炎	3.13	2.00	2.33		8.00		8.00				
細菌性髄膜炎											
無菌性髄膜炎											
マイコプラズマ肺炎	0.83	1.00	2.00			1.00	1.00		1.00		
ｸﾗﾐｼﾞｱ肺炎（ｵｳﾑ病は除く）											
感染性胃腸炎（ロタウイルス）											
急性呼吸器感染症（ARI）	76.12	90.43	117.64	29.33	88.20	88.88	38.40	64.33	6.67	40.00	63.33